

都市再生整備計画 事後評価シート

黒松内市街地区

平成29年3月

北海道黒松内町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	黒松内町		地区名	黒松内市街地区			面積	644ha
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年12月		交付対象事業費	430.2	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(黒松内町コミュニティ防災センター)、高質空間形成施設(黒松内市街地区)、高次都市施設(黒松内町コミュニティ防災センター)							
			提案事業								
	当初計画から削除した事業		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			提案事業								
	新たに追加した事業		基幹事業								
			提案事業	優良景観創造事業(黒松内町国民健康保険病院 外)		町が率先して景観づくりを行うことで町民の景観に対する意識を高揚するため、公共施設の外観の色彩を景観に配慮した色彩にする。			「年間CO2排出量」を「黒松内の景観への町民満足度」に変更		
交付期間の変更	当初変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	防災訓練参加人数	人	710	H22	800	H27	—	—	ありなし	
	指標2	生涯学習の町民満足度	%	49.1	H22	60.0	H27	17.3	×	ありなし ●	平成31年度
	指標3	黒松内の景観への町民満足度	%	48.0	H22	60.0	H27	41.5	×	ありなし ●	平成31年度
	指標4									ありなし	
	指標5									ありなし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	防災訓練参加率	%	22.3	H22			34.9		町民の防災意識の向上による	
	その他の数値指標2	コミュニティの町民満足度	%	22.9	H22			42.6		コミュニティ活動の拠点施設ができたことによる	
	その他の数値指標3	市街地建物屋根の景観色適合割合	%	90.6	H22			94.4		町が率先して所有施設を景観色に統一したことにより町民の景観に対する意識が向上したことによる	
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

黒松内市街地区(北海道黒松内町) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		
大目標: 安心して快適に暮らせるにぎわいのあるまちづくり 目標1 災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。 目標2 町民・各団体相互の結びつきを強めるコミュニティ活動を支援する。 目標3 自然にやさしい環境づくり、優れた景観づくりを推進する。		防災訓練参加人数	単位: 人	710	H22	800	H27	—
		生涯学習の町民満足度	単位: %	49.1	H22	60.0	H27	17.3
		黒松内の景観への町民満足度	単位: %	48.0	H22	60.0	H27	41.5
まちの課題の変化								
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)								

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		自然にやさしい健康づくりを推進する	自然にやさしい健康づくり、優れた景観づくりを推進する	景観行政団体として、町が率先して景観づくりを行うことで町民の意識を高揚し、優れた景観づくりに向けて誘導する必要があるため。
B. 目標を定量化する指標	●		年間CO2排出量	黒松内の景観への町民満足度	景観行政団体として町が実施する景観づくりは、ほかのまちにない落ち着いた町並みを生み出し、町民に心やすらぐ美しい景観づくりに積極的に取り組んでいたため。
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	黒松内町コミュニティ防災センター	103.8	防災拠点の整備	105.4	防災拠点の整備	詳細設計による事業費増	影響なし	●	
高質空間形成施設	黒松内市街地区	18.4	街灯のLED化	73.4	街灯のLED化	設置箇所数の増加(46基→206基)による事業費増	影響なし	●	
高次都市施設	黒松内町コミュニティ防災センター	172.1	コミュニティ活動を支える中核施設の整備	243.8	コミュニティ活動を支える中核施設の整備	建築面積の増加による事業費増	影響なし	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	防災訓練参加人数	人	年度内に実施した防災訓練の参加人数			710	H22	800	H27	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み	—	事後評価		
指標2	生涯学習の町民満足度	%	町民アンケートの結果(「満足している」旨の回答割合)			49.1	H22	60.0	H27	モニタリング		モニタリング			●
										事後評価	確定見込み	17.3	事後評価	×	
指標3	黒松内の景観への町民満足度	%	町民アンケートの結果(「満足している」旨の回答割合)			48.0	H22	60.0	H27	モニタリング		モニタリング			●
										事後評価	確定見込み	41.5	事後評価	×	
指標4										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価		
指標5										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成26年度から防災訓練の実施方式を変更したことにより測定が不可能となった	従来、毎年1回全町を対象とした防災訓練を実施していたが、訓練内容の充実と精度の向上を目的として、平成26年度から地区別に防災避難訓練を実施することとし、単年度で全町民を対象とした避難訓練を行わない事となったため、参加者の絶対数による比較が困難となったことにより測定不能となった
指標2	事業の実施によりコミュニティ活動の場は増加したが、事業実施中に並行して実施した役場庁舎建替事業のため従来あったコミュニティ活動施設が使用できない時期があったことが要因と思われる	アンケート項目の説明や前提が異なっていたことによる影響があると考えられる
指標3	本事業により市街地建物の景観指定色適合割合は向上したが、景観に関する町民の意識がそれ以上に大きく向上したことにより、総体的に満足度が低下したと思われる	アンケート項目の説明や前提が異なっていたことによる影響があると考えられる
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
				基準年度		基準年度					
その他の数値指標1	防災訓練参加率	%	防災訓練実施地区人口に対する参加人数の割合			22.3	H22	モニタリング		従来、毎年1回全町を対象とした防災訓練を実施していたが、訓練内容の充実と精度の向上を目的として、平成26年度から地区別に防災避難訓練を実施することし、単年度で全町民を対象とした避難訓練を行わない事となったため、参加者の絶対数による比較が困難となったことによる	参加率を訓練実施時直近(平成28年10月)の人口2,983人に乗じると1,041人
								事後評価	確定見込み ●		
その他の数値指標2	コミュニティの町民満足度	%	町民アンケートにおいて相当する項目の満足度を評価する			22.9	H22	モニタリング		本計画で設置した施設について、より直接的に関連する指標として当該項目の満足度を評価する	上記指標2と同じ基準で目標値を設定した場合41.2%
								事後評価	確定見込み ●		
その他の数値指標3	市街地建物屋根の景観色適合割合	%	平成22年10月時点及び平成28年8月時点の市街地航空写真から景観色に適合するものとそれ以外のものを計数し割合を算出する			90.6	H22	モニタリング		本計画において市街地公共施設の屋根塗装事業を実施したことから、本事業の直接的効果を測定する	平成22年計数結果 全家屋762中適合690不適合72 平成28年計数結果 全家屋736中適合695不適合41
								事後評価	確定見込み ●		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事後評価検討委員会(仮称)	学識経験者、町内各団体(まちづくり推進委員会、商工会等)代表	平成29年2月	企画環境課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○		指標○		指標○		指標○	
指標名									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業									
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 一 : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1			指標2			指標3					
指標名		防災訓練参加人数			生涯学習の町民満足度			黒松内の景観への町民満足度					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	地域生活基盤施設(黒松内町コミュニティ防災センター)	—	平成26年度から防災訓練の実施方式を変更したことにより測定が不可能となった	IV	△	事業の実施によりコミュニティ活動の場は増加したが、事業実施中に並行して実施した役場庁舎建替事業のため従来あったコミュニティ活動施設が使用できない時期があったことが要因と思われる	IV	—	本事業により市街地建物の景観指定色適合割合は向上したが、景観に関する町民の意識がそれ以上に大きく向上したことにより、総体的に満足度が低下したと思われる	III	—		
	高質空間形成施設(黒松内市街地区)	—			—			△					
	高次都市施設(黒松内町コミュニティ防災センター)	—			△			—					
提案事業	優良景観創造事業(黒松内町国民健康保険病院 外)	—			—			△					
関連事業	景観づくり推進事業	—			—			△					

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	引き続き防災・減災意識の普及・向上に努める	コミュニティ活動の場としてのコミュニティ防災センターの活用を促進するため、町民周知を実施する	町民意識の向上に併せ景観行政の成果のPRに注力する
------------------	-----------------------	--	---------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり交付金評価委員会	学識経験者、町内各団体(まちづくり推進委員会、消防団等)代表	平成29年3月	企画環境課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
防災拠点となる施設の整備	施設が整備された		
市街地にコミュニティ活動を実践できる施設が不足	施設が整備された コミュニティ活動施設が増加したことによりコミュニティ施設に関する満足度が向上した	生涯学習に関する町民満足度の低下	
景観行政団体として町民の意識の向上、優れた景観づくりに向けて誘導	町民の意識の向上 市街地において景観色に適合した建物の割合が向上した	景観に関する町民満足度の低下	
自然にやさしい環境づくりの意識高揚につなげるモデルとなる省エネルギー設備の整備	設備が整備された		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	防災意識の向上	防災・減災に関する町民意識の向上・啓発に努める	防災訓練、講演会・講習会の継続実施
	町民・各団体相互の結びつきを強める	コミュニティ活動の支援、場所の提供	コミュニティ防災センターの利用に関する町民周知
	景観団体としての景観づくり	景観に関する町民意識の向上	景観に関する施策、実績のPR

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	生涯学習に関する町民満足度の向上	町民ニーズの把握と生涯学習メニューの充実	アンケート調査等の実施
	景観に関する町民満足度の向上	町民ニーズの把握、景観に関する施策の普及啓発	アンケート調査等の実施、景観施策のPR
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
—	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	防災訓練参加人数	人	710	H22	800	H27	確定	-	-	あり			
							見込み			なし			
指標2	生涯学習の町民満足度	%	49.1	H22	60.0	H27	確定 ●	17.3	×	あり ●	H31	町民幸福度アンケート	
							見込み			なし ●			
指標3	黒松内の景観への町民満足度	%	48.0	H22	60.0	H27	確定 ●	41.5	×	あり ●	H31	町民幸福度アンケート	
							見込み			なし ●			
指標4				H	H	確定			あり				
						見込み			なし				
指標5				H	H	確定			あり				
						見込み			なし				
その他の数値指標1	防災訓練参加率	%	22.3	H22			確定 ●	34.9		あり			
							見込み ●			なし			
その他の数値指標2	コミュニティの町民満足度	%	22.9	H22			確定 ●	42.6		あり ●			
							見込み ●			なし ●			
その他の数値指標3	市街地建物屋根の景観色適合割合	%	90.6	H22			確定 ●	94.4		あり ●			
							見込み ●			なし ●			



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の事業を数値目標測定の前提としていた場合、当該事業が変更又は中止となった際には、指標の変更など、計画の見直しを検討すべき。
	うまくいかなかった点	・事業の変更により計測できなかった数値目標があった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果と指標の数値の関連性を十分に検討すべき。 ・アンケート結果を指標とする場合は特に他の要因が影響しない指標を選定すべき。 ・アンケート調査については項目の記載内容に慎重を期すべき。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業と直接的に連動しない数値目標を設定した。 ・アンケートを比較する際に、項目名は同一であったが、説明文やニュアンスの異なる項目があった。 	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町サイトに掲載	2/20～3/8	左と同じ	eメール	企画環境課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	なし
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	濱田暁生(株シー・アイ・エス計画研究所会長、札幌市立大学・大学院特別セミナー講師、札幌市都市景観審議会会長、釧路町都市計画マスタープラン及び緑の基本計画にかかる町民委員会委員長、豊浦町本町通街なみ環境整備事業アドバイザー、江差町歴史文化基本構想策定委員会院長ほか)	3月8日	企画環境課	規約	なし
その他の委員	菅 一(黒松内町議会副議長、黒松内消防団長、黒松内町防災会議委員ほか) 池田重人(黒松内町教育委員、黒松内町まちづくり推進委員会委員長、黒松内町ふるさと景観審議会会長ほか)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	成果の評価	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	実施過程の評価	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	効果発現要因の整理	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	事後評価原案の公表の妥当性	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	その他	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	コミュニティ防災センターの更なる活用を図るため、利用日と利用時間の拡大について検討されたい。
	フォローアップ	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	その他	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	事務局から委員の皆様へ説明し、異議なく了承を得た
その他	アンケート調査のほか、意見聴取箱の設置など、町民意見の収集に努められたい。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--